

2010年10月28日

スタイリングの変更により上級モデルとのデザインの統一を実現

「新型フリーランダー2」

2011年1月8日より発売

ジャガー・ランドローバー・ジャパン(本社:東京都港区、代表取締役社長:ラッセル・アンダーソン)は、エクステリアのスタイリングと装備を改良した「新型フリーランダー2」を、2011年1月8日(土)より、全国のランドローバー正規ディーラーを通じて販売を開始します。

今回のフリーランダー2の変更は、スタイリングを中心とした大規模なものであり、2007年のフルモデルチェンジ以来初めてです。具体的には、フォグランプベゼルを組み込んだ新デザインのフロントバンパーとフロントグリルにより全体的なプレミアム感を高め、他のランドローバーモデルとのデザインの統一を図りました。さらにテールランプ内側のレンズをクリアに変更したことで周囲のブラックとのコントラストが強調されて鮮明度が増しました。ドアハンドル、ヘッドランプ・パワーウォッシュ、トアミラーキャップもボディと同色としたこととあわせて、一層洗練された雰囲気を出しています。また、HSEには、新デザインの19インチアロイホイールを採用しております。

インテリアでは電動調整式シートのスタイリングを変更して、新たにナポリレザーシートを採用し、トリムフィニッシャーは4種類用意しています。さらにHSEモデルで選択可能なプレミアムパック・オプションには、ウインザーレザーの電動調整式シート(運転席8ウェイ/助手席6ウェイ)や、プレミアム・カーペットマット等が設定されています。

車両本体価格(消費税込)は以下の通りです。

フリーランダー2 3.2 i6	¥4,340,000
フリーランダー2 3.2 i6 HSE	¥5,840,000
*プレミアムパック・オプション	¥160,000

全ての車両には初年度登録より3年間または60,000kmのメーカー保証と初年度登録より3年間、24時間のエマージェンシーサービス「ランドローバー・ツーリングエイド」、および定期点検費用と部品代を半額サポートするサービスプログラム「ランドローバーアクティブケア」が適用されます。

フリーランダーは、ランドローバーがSUVマーケットの全く新しいセグメントに挑戦して1997年にデビューした「コンパクト・プレミアムSUV」です。その2代目となる「フリーランダー2」は、2007年6月に日本で発売を開始しました。コンパクトSUVクラス初の横置きレイアウトを実現した新型直列6気筒3.2リッターエンジンの搭載により、優れた動力性能と安全性、広い室内スペースを実現したほか、オフロード・ドライビングのノウハウを知り尽くしたランドローバーが独自に開発した、「トレイン・レスポンス™」を標準装備するなど、エントリーモデルとしての親しみやすさがあるながらも、充実した機能を備えています。

車両本体価格は「CO2 オフセット・プログラム」の金額を含んでいます。ランドローバーの「CO2 オフセット・プログラム」は、カーボンオフセットプロバイダーのクライメート・ケア社の運営のもと、すべての新車において、お客様の最初の走行距離 72,000 km分の CO2 排出量を相殺するもので、オフセット・プログラムのバリューに相当する金額をあらかじめ車両本体価格に組み込んでいます。CO2 オフセットとは二酸化炭素を削減するプロジェクトに資金を提供し、自らが排出した二酸化炭素を相殺し、二酸化炭素の排出を実質ゼロにすることです。ランドローバーでは、このプログラムを通じて中国の風力発電プラントやタジキスタンの水力発電機等のオフセット・プロジェクトを実施します。



新型フリーランダー2

読者からの問い合わせ先：
ランドローバーコール(フリーダイヤル)0120-18-5568
この件に関する報道関係者からの問い合わせ先：
ランドローバー 広報室 03-5470-4230

ランドローバープレスサイト：
<http://landrover.jp/pressinfo/>
ID: landrover PASSWORD: lrpess